

氏名

着任に当たっての一言

植村 幸也

日比谷総合法律事務所
弁護士



- ネットには違法な広告が溢れています。悪質業者は一部かもしれませんが、消費者被害はまさにそこから発生します。ネット広告はいつどこに表示されるのかわからないことを良いことに規制の目をかいくぐろうとする事業者もいます。東京デジタルCATSの一員として、違法なネット広告を撲滅する取組を強くサポートします。

橋本 小智

弁護士法人
大江橋法律事務所
弁護士



- 多くの企業が、広告制作に際して製品やサービスを訴求すると共に、消費者に適切な情報提供となるよう工夫を凝らしている一方で、世の中には誇大広告のような不適切な広告も溢れています。「東京デジタルCATS」の取組みを通じて適正な広告が増えることを期待しており、そのために協力することができれば光栄です。

笠井 北斗

(一社)日本アフィリエイト協
議会 代表理事



- 東京デジタルCATSのメンバーに選んでいただいた事、大変光栄に思っております。インターネット広告業界の健全な発展と普及、そして消費者利益と事業者利益の共存と成長を図るためにも、CATSメンバーとしてインターネット上の広告表示の適正化に貢献できるよう全力で取り組んでまいります。

土橋 一夫

(株)ネットリクス 代表取締役



- 私はプログラマーとして、ネット広告の監視システムを運用してきました。ネット広告の世界では、技術が悪用されています。また、インターネットを通じて、不正なビジネスが人々の生活に入り込んでいます。この惨状を改善し健全化するため、CATSの活動に強く取り組んで参ります。

原田 由里

(一社)ECネットワーク 理事



- ECに特化した消費者相談を受けています。私たちは、日々、ネット上に表示される多種多様な広告に触れながら生活していますが、一部の悪質な広告、越境広告により消費者トラブルにつながる場合があります。デジタル広告の適正化とともに、消費者のネットリテラシーの底上げに貢献できるよう努めていきたいと思っております。

東京都消費生活総合センター
主任相談員

井坂 江美子

- 社会のデジタル化を背景に、虚偽・誇大な広告による被害が増えています。文字だけでなく、動画等を利用した巧みな働きかけにより、消費者を惑わせ、正しい選択を妨げる悪質な広告も多く、市場整備が課題となっています。「不当表示は許さない！」という強い理念のもと、デジタル広告の適正化に向け、貢献できれば幸いです。

東京都消費生活総合センター
主任相談員

福永 さつき

- 日々不当表示や広告に関する相談を受け、アフィリエイト広告やサイトの不正なレビュー、口コミサイト等に惑わされ契約する消費者が多いと感じています。この活動に参加することで、不当な広告に対する東京都の調査・検知機能等の強化や、消費者が適正な商品選択ができる環境の整備の一端を担えればと思っています。